

2年連続の地震被害をうけた 旧伊達郡役所 ようやく 復旧工事が始まる

6月定例会 2

特別委員会設置 5

4選出馬の考えは 9
(一般質問 10名登壇)

議会モニター・町民意見への答え ... 22



SCP-L

提出議案 22 件を審議

条例改正 3 件、補正予算 2 件、報告 4 件、
同意 1 件、陳情審査 5 件、財産の取得、
発意 4 件、発議 1 件、
議員の派遣の計 22 件を可決、同意した

6 月 定 例 会

会期：6 月 14 日～20 日（7 日間）

条例改正

補正予算

◆町税条例等の一部改正
（税制改正による地方税法の
一部改正に伴い該当する税

〔個人住民税〕

・住宅ローン控除の見直し
により、適応期限の延長、
控除率の引き下げ等。
（詳しくは町税務住民課窓口で

国保税 昨年と変わらず

◆町国民健康保険税条例の
一部改正

（国保税の案分率の改正と未
就学児に対する均等割額の
軽減及び賦課限度額の改正）
・後期高齢者医療支援金、
介護納付金分における所
得割の率を 0，04 引き
上げた。対象となる未就
学児は約 30 名。
（詳しくは P 23 国保税あんぶ
ん率表でご 確認下さい）

※他に 1 件の改正があった。
議案名は議案審議結果表
をご覧ください。

とを期待し討論とする。

反対 鈴木 隆志 議員

町民生活にとって緊急に
対応が必要となる大切な予
算であることは十分理解し
ているが、次の 2 点から反
対する。

分である。地震倒壊前の伊
達崎小学校の教室壁は、鉄
筋の配置がなく、高さ 1・
2 m を超えるブロック壁で
あった。そのような壁は、
建築基準法施行令第 61 条に
照らせば、安全性を担保し
たものとは言えない。私は
復旧（地震前のもとの状態
に戻すだけ）の予算だけで
はなく、強化する（強度を
高める）予算も必要である
と考えることから、本補正
予算に反対する。

賛成 川名 静子 議員

本補正には物価高騰から
弱い立場の方々に配慮した
町独自の商品券の給付、さ
らには 3 月に発生した地震
により被災した教育現場の
復旧費、昭和大桥の復旧費
と町民生活に直結する事業
である。商品券給付により
町内での経済効果も期待で
きるものと考えている。
また、感染者の減少が見
られる中、4 回目のワクチ
ン接種事業も予算化された。
今年こそ、終息の兆しが見
え美味い桃ができるこ

一日も早い震災復旧を願う
◆一般会計（第 4 号）
歳入歳出予算の総額に、
それぞれ 4 億 5，488 万
9 千円を追加し、予算総額
を 68 億 3，237 万 2 千円
とするもの。

《主な歳入》

●国庫支出金
・コロナワクチン接種対策
費国庫負担金
1，421 万 1 千円

・公立学校施設災害復旧費
負担金
4，666 万 6 千円

・子育て世帯生活支援特別
給付金給付事業費補助金
（低所得子育て世帯に
児童一人につき 5 万円）
450 万円

●都道府県支援金
・災害救助費等負担金
5，000 万 5 千円

●地方債
・防災・減災対策等強化推
進事業債
7，470 万円

賛成 齋藤 松夫 議員

本予算案は、全体として
賛成できるものと判断する。
そのうえで意見を一つ述べ
ておきたい。

今度の補正により令和 3
年度予算額は 68 億余となる。
これらの執行にあたっては、
当然のことながら政教分離
の貫徹を始め、法令遵守の
立場を貫いていただきたい。
これまで指摘してきた問題
はすみやかに改め、適正な
事務執行とすることを求め
るところだ。

賛成 佐藤 武朗 議員

今回の補正予算は、3 月
に発生した地震対応の予算
が組み込まれており、当然
この復旧の早期完成を望む。
説明の中には今後の地震に
も対応した復旧内容と認識
している。また、町民の元
気に繋がる各種事業予算も
計上されており、早期の事
務執行をお願いし賛成討論
とする。

賛成 8 名 反対 2 名

・公共土木施設等災害復旧
事業債 8，000 万円

・教育施設災害復旧事業債
2，330 万円

《主な歳出》

●臨時交付金対象
・行政連絡員費
522 万円

（地域コミュニティ活性化奨
励金一町内会に 3 万円、
一世帯に一千円）

・文書管理費 308 万円
（丁合機整備事業）

・住民税非課税世帯等への
応援商品券給付事業
604 万 5 千円

（一世帯 5 千円、1，100
件分）

・子育て応援商品券給付事
業費 823 万 9 千円
（0～18 歳児童一人 5 千円の
商品券 1，500 名分）

・商工振興対策費
2，420 万円
（こおりプレミアム商品券
プレミアム率 50％）

●令和 4 年 3 月地震対応
・被災住宅応急修理支援事
業 5，000 万 5 千円
（半壊・中規模半壊 19 世帯、
準半壊 129 世帯）
・橋梁災害復旧費
1 億 6，300 万円

◆町国民健康保険特別会計
（事業勘定）（第 1 号）

歳入歳出それぞれ 225
万 7 千円を減額し、予算総
額を 13 億 5，627 万 4 千
円とするもの

《歳入》

・国民健康保険税
▲3，000 万円

・繰越金
2，774 万 3 千円

《歳出》
・国民健康保険事業費納付金
▲1，038 万 6 千円
・介護納付金
312 万 9 千円
・基金積立金 500 万円

陳情 審査結果

請願・陳情とは

町民のみなさんの意見や要望
等を町政へ反映させる制度です。
※請願・陳情書の作成・提出方
法については議会事務局へお問
い合わせ下さい。
（電話 582-2113）

女性トイレの維持及びその安
心安全の確保についての陳情

（陳情者）
神奈川県大和市中央 2-1

（昭和大桥への災害復旧ではな
く、災害防止から被災してい
ない 1 橋脚、2 橋台にもゴム
支承へ材質を取り換える）
・小学校災害復旧費
7，000 万円

●国庫返還金
（伊達崎小 3 階間仕切壁復
旧工事、水飲み場解体）

・住民税非課税世帯等への
臨時特別給付事業
289 万 2 千円
（令和 3 年度分確定に伴う
返還金）

・子育て世帯への臨時特別
給付金事業費
229 万 7 千円
（令和 3 年度分確定に伴う
返還金）

質疑 「こおり夏まつり」事

業の内容、応援商品券給
付事業、小学校災害復旧
費への質疑が多くあった。

討 論

補正予算に対して

反対 岡本 貴士 議員

地震で倒壊した教室壁は、
復旧（地震前のもとの状態
に戻すこと）だけでは不十
（次ページにつづく）

1-15 5 階（大和法律
事務所内）

女性スペースを守る会

「LGBT 法案における『性
自認』に対し慎重な議論を
求める会」

共同代表

飯野香里 井上恵子

永田マル 山田響子

（審査委員会）

産業厚生常任委員会
（審査結果） 趣旨採択

反対 川名 静子 議員

委員長報告に反対する。
この陳情にはトイレでの性
暴力被害をなくすため、共
用型ではなく区別して欲し
いとの陳情だ。本町の現状
を調査することなく陳情の
主旨を理解した答弁とは理
解できない。

国民の祝日「海の日」を 7 月
20 日に固定化する意見書の
提出を求める陳情

（陳情者）
東京都千代田区平河町 2
1-6-4 海運ビル
海事振興連盟
（次ページにつづく）

会長 衛藤 征士郎

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

採 択(意見書提出)

賛成5名 反対5名

議長賛成

反対 齋藤 松夫 議員

戦前回帰型の方向に進む意見書として反対する。日本共産党は現行海の日制定には賛成の態度をとった。それを7月20日に固定化しようとする理由は、戦前の天皇主権下における、天皇の行為を記念してのことである。国民主権の観点から、これに賛成することはできない。

国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める陳情

(陳情者)

福島市上浜町10-38

福島県教職員組合

中央執行委員長

瀬戸 楨子

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

採 択(意見書提出)

地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情

(陳情者)

伊達市保原町字舟橋180

日本労働組合総連合会

福島県連合会 伊達地区

連合会

議長 高橋 誠一

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

採 択(意見書提出)

沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

(陳情者)

鶴岡市水沢字行司免43-13

辺野古を止める!全国基地引き取り緊急連絡会

代表 漆山 ひとみ

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

不採択

桑折町立釀芳保育所等の存続と発展を求める陳情書 中間報告

総務文教常任委員会 委員長 斉藤 謙

令和4年3月1日付託された本陳情書は「継続審査」とし調査してきた。

今定例会に中間報告を行い、当委員会から特別委員会に付託を改める結論に至った。

(審査結果)

1. 二つの常任委員会にまたがる審査は、特別委員会により行われるのが通例である。本件陳情審査は「桑折町第2期子ども子育て支

援事業計画」等産業厚生常任委員会所管の調査も必要であるため。

2. 本件陳情は保育所等の民営化という、町民にとって重要な問題であるため。

また、本町議会基本条例第4条の4では、「請願や陳情は町民からの政策提案」と位置づけされており、基本条例具現化の立場で審査するため。

認定こども園については、町の最上位計画の「桑折町総合計画」に盛り込まれており、昨年9月の定例会において合議の上議決している案件であります。よって、特別委員会の設置には反対致します。

特別委員会設置に対して

佐藤 武朗 議員

付託された陳情は、委員会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

会において審査結果を報告すべきと考え特別調査委員会の設置には反対。最近「プロポーザル方式」を多くの自治体が採用し、民間のノウハウを最大限に活かした事業に取組み、財政面にも寄与できるものと考え

特別委員会設置について、委員

特別委員会設置

桑折町立釀芳保育所等の存続と発展を求める陳情調査特別委員会設置について

本議会に桑折町立釀芳保育所等の存続と発展を求める陳情調査特別委員会を設置し、6名の委員をもって構成し、桑折町立釀芳保育所等の存続と発展を求める陳情に関する調査のため、次の事項を付託する。

1、調査事件

桑折町立釀芳保育所等の存続と発展を求める陳情に関する調査について

2、調査期限

1に掲げる調査が終了するまでとし、閉会中もなお調査を行うことができる。

3、委員 議長の指名による。

調査特別委員会の選任

委員 鈴木隆志、岩崎久男、齋藤松夫、斉藤 謙、川名静子、半澤 高の6名を指名した。



第一回 調査特別委員会

委員長 斉藤 謙 議員
副委員長 齋藤 松夫 議員
同日委員会が開催され、委員長・副委員長を選任、今後の進め方を協議した。

発議

原子力損害賠償に係る中間指針等の見直しを早急に行うよう求める意見書

〔提出者〕 桑折町議会

〔審査の結果〕

全会一致(意見書提出)

※意見書の内容は左のQRコードからご確認ください。



賛成 川名 静子 議員

特別委員会設置について賛成の態度をとる。陳情を頂いてから今日まで、総務文教常任委員会ができる範疇での調査は終えた。残る調査は所管外の部分である。今回の事は町教育の歴史にとり大転換である。陳情の内容からもこれからの調査が必要不可欠であり、特別委員会の中でさらに調査を深めることが、残された最善策と考える。

賛成6名 反対4名

反対 原 賢志 議員

これまで町民の方々から寄せられた請願や陳情の全てが重要な請願・陳情であった。複数の課にまたがる請願・陳情に対してもこれまで、一度も連合審査や特別委員会を設置せずに審査を行ってきた。各議員がしっかりと調査し、責任をもって判断を行ってきたものである。にもかかわらず、なぜ今回だけ特別調査委員会を設置し審査を行わなければならないのか理解できない。よって、反対の立場をとるものである。

おめでとうございます

功労表彰

町村議会議長として6年以上在職し功労のあった者に対し、議長会より6月3日表彰、伝達された。



片平秀雄議長

町村議会議員として11年以上在職し功労のあった者に対し、同じく表彰され伝達された。



佐藤武朗議員

財産の取得

一分団に配置 消防ポンプ車を

- 1 購入物件及び数量
消防ポンプ自動車一台
- 2 契約の相手方
住所 福島市五月町8番37号
氏名 福島消防資材株式会社
代表取締役 阿部幸七
- 3 契約の方法
指名競争入札
- 4 買入金額

同意

2,244万円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税額204万円)

町固定資産評価審査委員会委員の選任

町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い委員を選任する
住所 南半田字大梅寺
氏名 松野 明彦
任期 令和7年7月まで再任(3期目)

議案審議結果表

○全会一致で可決の議案 第4回臨時会

議案名	討論者
議案第29号 令和4年度桑折町一般会計補正予算(第3号)	齋藤松夫

○第5回定例会 賛否の分かれた議案

議案名	議員名	岡本貴士	鈴木隆志	岩崎久男	齋藤松夫	佐藤武朗	齊藤 謙	佐藤榮三	川名静子	半澤 高	原 賢志	議長	可否
議案第33号 令和4年度桑折町一般会計補正予算(第4号)		●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
発委第4号 桑折町立釀芳保育所等の存続と発展を求める陳情調査特別委員会設置について		●	○	○	○	●	○	●	○	○	●	-	可決
発委第5号 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化することを求める意見書(案)		●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	可決

○：賛成 ●：反対 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議案名	討論者	議案名	討論者
議案第30号 桑折町税条例等の一部を改正する条例		同意第9号 桑折町固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第31号 東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例		議案第35号 財産の取得について	
議案第32号 桑折町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		発委第6号 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書(案)	
議案第34号 令和4年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)		発委第7号 地方財政の充実・強化に関する意見書(案)	
報告第1号 令和3年度桑折町繰越明許費繰越計算書について		発議第2号 原子力損害賠償に係る中間指針等の見直しを早急に行うよう求める意見書(案)	
報告第2号 令和3年度桑折町事故繰越し繰越計算書について			所管事務調査報告について
報告第3号 町が出資金を出資している法人の経営状況等を説明する資料の提出について(令和3年度一般財団法人桑折町振興公社事業報告等)			桑折町議会議員の派遣について
報告第4号 町が出資金を出資している法人の経営状況等を説明する資料の提出について(令和3年度福島地方土地開発公社桑折町事務所事業報告等)			閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について

※報告は採決なし

○全会一致で可決の議案 令和4年第6回臨時会

議案名	討論者
議案第36号 桑折町立伊達崎小学校災害復旧工事(第2期)請負契約の締結について	
議案第37号 令和4年度桑折町一般会計補正予算(第5号)	

町が出資している法人の経営状況報告

一般財団法人桑折町振興公社

事業の概要

地域づくり、地場産業の振興に関し、調査研究並びに開発を推進、町の振興発展に寄与することを目的に事業を展開している。
3年度もコロナウイルス感染症の影響を受けたが、桑折ならではの地域活性化の推進に向け、各種事業の効果的な実施を図った。
また、4年度からブランド野菜の生産を通し、地域農業の魅力アップとブランド化を図っていく。

◆地域振興事業

6次化商品開発事業

〓献上桃の郷〓桑折町の地域ブランドの強化、公社経営基盤の強化に向け、公社開発6次化商品の販路開拓・拡大への取組を、仙台・首都圏、物販イベント等参加、オンラインショップの強化を積極的に展開した。

◆農業振興活動拠点施設管理運営事業

「レガールレこおり」は交流拠点として、集う〓学ぶ〓(体験・発見)の具現化を目指すため、伊達崎マルシェを6回開催した。
「ピザ」の新メニュー開発では、伊達崎小4年生と料理長とのコラボで町産食材を使い令和4年夏に販売する予定だ。

質疑

次のような質疑があった。

Q 小学生とのメニュー開発は今後もあるものなのか。

A 今年を成功させ販売戦略にのせる。今後は状況をみながら。

Q 事業の半分が「ピザスタ」公社は桑折の地産を広げる役割では、今後は。
A これからも続けていく。



賑わうマルシェ

(税込)140円
飲むこんにゃくゼリー：
(税込)180円
7/15(日)

Q 6次化商品の値上げは。
A 希望小売価格は、至福の桃グミ：：

Q R3の報告に販路拡大につながったとあるが。
A 商談会で1件の契約があり成果はあった。

Q プロデュース料をいつまで払い続けるのか。
A 理事会で決める事だ。

Q 事務局長の変更は組織の中での人選か、多忙になるのではないか。
A 商工振興係長が兼務するが、分担やシェアしていく。地域おこし協力隊の制度活用ของ考えもある。

土地開発公社桑折町事務所

事業の概況

令和3年度は公共用地等の取得事業や処分事業等は実施しておりません。

なお、平成19年度において、工業団地売却により損失が生じたが、町からの補償により借入金の返済を実施している。

損益計算書

単位：円

項目	令和2年度	令和3年度
1 事業収益		
(1)公有地取得事業収益	0	
2 事業原価	0	
事業総利益	0	
3 販売費及び一般管理費	7,277	8,116
事業損失	▲7,277	▲8,025
事業外収益	140	91
(1)受取利息	140	91
(2)雑収益	0	0
事業外費用		
(1)支払利息	0	0
経常損失	▲7,137	▲8,025
6 特別損失	0	0
当期純利益	▲7,137	▲8,025
当期損失	▲7,137	▲8,025

令和3年度「ピザスタ」売上・利用者状況

R3.4～R4.3

項目	内容等		令和3年度	前年度	比較増減	対前年比
レストラン	来店者数	男	4,942人	6,264人	▲1,322人	78.9%
		女	9,023人	11,229人	▲2,206人	80.4%
		計	13,965人	17,493人	▲3,528人	79.8%
売上高	飲食売上		37,947,741円	41,914,654円	▲3,966,913円	90.5%
事業仕入高	材料費		12,612,819円	14,739,964円	▲2,127,145円	85.6%
			33.23%	35.16%	▲1.93%	94.5%
人件費支出	人件費		10,838,736円	12,381,315円	▲1,542,579円	87.5%
			28.56%	29.53%	▲0.97%	96.7%
体験事業	ピザ作り体験		3回	1回	2回	300.0%
			56人	4人	52人	1,400.0%



原 賢志 議員

4 選出馬の考えは 邁進することを誓い出馬表明する



— 桑折町の未来を —

問 本年秋季の町長選挙への出馬の意思を伺う。

答 町長 攻めの姿勢で「変革と創造」を成し遂げ「みんなが幸せを実感できる元気なまち こおり」・「住み続けたいまち 住みたいまち こおり」を実現

することが責務であり使命と捉えている。町民皆様の郷土への強い愛着と町の発展への願いと期待に応えるため、引き続き全身全霊をかけ不退転の覚悟で邁進することを誓いし、出馬表明とする。

今後の町政に対する考えは 全力で行政執行にあたる

問 今後の町政発展のための考えを伺う。

答 町長 総合計画で示す「活力と賑わいに満ちたまちづくり」「危機管理に備えた安全・安心のまちづくり」「暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり」「健康長寿で元気なまちづくり」「子どもを大切に育むまちづくり」「交流で絆を育むまちづくり」を軸とした重点プロジェクトを着実に推進していく。そのためには、健全財政を維持することが重要である。そして町民皆様が安心して安

全に、更には豊かに暮らしている基盤を築いてまいり子どもたちのために、時代の潮流を見誤ることなく常に変革を遂げながら先人から受け継いだ地域資源を守り活かしていかなければならない。総合計画でうたうSDGsの理念のもと、町を想い愛するすべての人たちと共に、将来に向かって「みんなが幸せを実感できる元気なまち こおり」を創造していくために全力で行政執行に当たっていく。

一般質問

町政を問う 60分

- ◇議員が事前通告した内容に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- ◇内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
- ◇質問項目は、通告によるものです。
- ◇議会ホームページ(録画)で過去一年分までご覧いただけます。



登壇議員	質 問 事 項
原 賢志 議員 (9 ページ)	○印の質問の概要を掲載しています ① 町長選挙出馬の意思を伺う。 ② 3期12年の町政執行の総括と今後の町政に対する考えを伺う。
斉藤 謙 議員 (10 ページ)	① 除雪対策等に関して ② 定住移住関係について ③ 福島蚕糸跡地に民営認定こども園を設置することに関して ④ 財務4表等に関して
川名 静子 議員 (11 ページ)	① 「認定こども園」松葉福祉会と町との契約に関して ② 新型コロナウイルス感染症への考え方に関して ③ 目標を達成するためのSDGs本町の取り組みに関して ④ 本町の資源を生かした観光に関して ⑤ 予防接種の一部補助に関して
鈴木 隆志 議員 (12 ページ)	① 中学生世代までにおける新型コロナウイルス感染症対策について ② 認定こども園の今後の対応について ③ ボランティア活動について ④ 公民館管理体制について ⑤ 半田山登山道の整備について
佐藤 榮三 議員 (13 ページ)	① 新規就農者・地域おこし協力隊員との交流について ② 農業振興(農村環境整備)のための多面的機能支払交付金事業について ③ 自然災害から町民を守る施策について
佐藤 武朗 議員 (14 ページ)	① イオンモール北福島(仮称)の開業に向けた本町の取り組みについて ② 「献上桃の郷」を守る農業後継者の課題について ③ 許認可申請の扱いについて ④ デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進について
岡本 貴士 議員 (15 ページ)	① 町民の声「9月に町長選挙がある。高橋町長は立候補するのか、多選(4期16年)になるのが気になる」をお預かりした。現段階のお考えとその理由を伺う。 ② 町民の声「こどもの感染者が増加し、不安を感じる、町独自の対策を検討してほしい」をお預かりした。所見を伺う。 ③ 町民の声「伊達崎小学校の間仕切り壁にコンクリートブロックが使われていた。危険では」をお預かりした。町施設に同様の間仕切り壁があるものか伺う。 ④ 私はホームページ、SNS、FAXで、ご意見を頂戴し情報発信をしている。町の情報公開の在り方(特に感染情報)について所見を伺う。
半澤 高 議員 (16 ページ)	① 町の事務チェック体制について ② 商店街の賑わい創出等について ③ 歴史観光交流センター整備事業について ④ 小中学校での教職員の働き方改革について
岩崎 久男 議員 (17 ページ)	① 自然災害の対応について ② 蚕糸跡地への幼保連携型認定こども園誘致と、第2期子ども子育て支援事業計画との関連について ③ 非核平和の町宣言について ④ 東京電力(株)に対する損害賠償請求について ⑤ 子育て世代への支援策について
齋藤 松夫 議員 (18 ページ)	① 保育所・幼稚園への突然の町方針(町営)大転換(民営化)に対する説明責任が果たされていないことについて ② 蚕糸跡地へのスーパー誘致政策に関する地元商業者への説明及び商工会要望書(小規模企業振興条例制定・令和3年8月)への対応について ③ 歴史観光基本構想に基づく事業費約5億円の美術館等建設計画とその令和4年度予算計上及びその突然の撤回について ④ 3.16地震被災者支援及び町営住宅の管理について



齊藤 謙 議員

なぜ、保育所を民営化か 政策会議で決定



—町営保育所廃止か—

問 なぜ町民の意見を聞かなかったのか。又、現在の保育所でなぜ存続できないと判断したのか。定期借地権契約書では、(株)いちいの契約としているが、問題は何か。

答 町長 福島蚕糸跡地の利活用は「交流」等の機能を持つ「ここにしかない複合施設」の整備を進めるため、幼保保育のあり方については、施設の老朽化等増大する保育ニーズへ対応すべく、総合教育会議で意見交換も踏まえ、町・町教育委員会・園設置者の連携の下、町方針を政策会議で決定した。転賃は民法及び賃貸人と締結した契約で町との承認を得ることで可能だ。

町民の声を反映すべき 除雪指針に基づき話し合う

問 昨年暮れからの大雪で各地域へ大変な影響がで、多くの町民から苦情が寄せられた。対策はどのようなになっているのか。特に高齢者や子供たちの歩道が危険極まりない状況。生活道路や歩道については「共助による地域除雪」は町内会等との話し合いを行うと、町長はしていたが。

答 町長 過去の気象状況の分析や除雪に関して町の課題を整理する。町民の安全確保や除雪作業の効率性、地域との連携等により各種団体、企業等に広く意見を求めつつ、自助・共助・公助による体制を構築する。なお、除雪指針を10月まで策定する。

これも質問

問 「財政4表」から、判断するに、
財源確保大変厳しい

答 行政経費の節減合理化等を進める

問 新聞報道をどのように生かすのか

答 移住定住、子育て支援制度を継続する

事業者が撤退すれば福祉会もか 賃借人との契約が解除なら無効に

3月末に「普通財産事業用定期借地権設定契約書」が締結されたことから伺う。

問 土地の契約は(株)いちいと、松葉福祉会と町との契約はないのか。また、教育の宝でもある方針を民間に委ねる事には反対だが、幼児教育内容も伺う。

答 町長 町の方針を十分踏まえながら決定する。県との設置認可申請に係る事業

前協議を開始する5年4月までに、運営等を含めた協定書を締結する。

問 (株)いちいが撤退すれば契約のない松葉福祉会も撤退か。

答 町長 信頼関係の中で進めておりその状況は想定しないが一般論では契約における賃借人との契約が解除になれば無効となります。

ワクチン接種の拡大で安心を 支援のあり方を調査する



川名 静子 議員



50歳代から発症率が高まり、80歳までに約3人に1人が発症すると
—ワクチンの効果が大きいと言われている—

(1) PHNとは、帯状疱疹後神経痛の英語頭文字
(2) HPVとは、ヒトパピローマウイルス感染症の略

これも質問

問 情報を共有することで危機感を持てたのでは

答 教育長 取組が不十分な事例もあった

問 関心度の違う立場の町民をどうリードするのか

答 目標達成に向けた取組を支援する

問 交流人口増に駅へのエレベーター設置の考えは

答 JR東日本に対し毎所要望書を提出している



鈴木隆志議員

認定こども園の町民あて説明会は 7月、町民対象に説明会開催予定

「保育所の運営形態が変わります」とのお知らせ以降説明がなく「桑折町立醸芳保育所等の存続と発展を求める陳情書」が提出された。次の点伺う。

問 町民あての説明がなく不安の声が寄せられている説明会開催の予定は。

答 町長 7月に町民対象に説明会を開催する予定としている。その後、その都度必要な説明をしていく。

具体的内容等が決まれば業者からも説明させる。

問 特に、保護者をはじめ若い世代に説明会に参加していただき意見を聞く必要があると考えるが。

答 町長 保護者等が参加しやすい日時を考慮し、説明会開催すると共に保育所等で保護者が集まる機会を捉えて説明し、意見等拝聴していきたい。



ー同じ敷地内にある幼稚園と保育所が別々になるのかー

教育現場での感染者増加への対応 今までの取り組みを検証して対応

10代までのコロナ感染割合が高くなっている。教育現場における感染症対策について次の点伺う。

問 保護者から、十分な情報提供がなく、児童生徒の預け入れ、登校させるかの判断に迷うとの意見が寄せられている対応は。

答 教育長 保護者あて、預け入れ、登校を控えてもらう場合、連絡している。それ以外、保護者の判断としていることが、十分伝

わっていないかった。今後、周知に努める。

問 今後、熱中症対策でマスクを外す機会が増える指導は。

答 教育長 マスク着用について各学校等で具体的に指導し、周知を図っている。

問 衛生面等マスクケースの配付を検討してはとの意見が寄せられている対応は。

答 教育長 マスクケースの配付について、今後、検討する。

これも質問

問 ボランティア活動参加に向けた取り組みは

答 様々な場面で参加に向け意識高揚を図っていく

問 各公民館への公民館運営推進員配置の考えは

答 各種関係団体及び内部において今後検討する

問 約250年前の半田山登山記の有効活用は

答 さらなる活用等について、今後研究していく

交付金事業の広域化を 引続き面積拡大に向ける

問 多面的機能交付金事業は広域化することにより、農地維持管理事業のみならず資源向上事業も取り組むことができる。実績を踏まえて今後どのように進めていくものか伺う。

答 町長 農道や水路の修繕、耕作放棄地対策等に効果認められるとともに、

上乗せ助成があることから、町としても、各団体に対して取り組むよう、伊達西根堰土地改良区と連携しながら、助言及び普及啓発に努めていく。田んぼダムについては、川上地域の加入により防災効果が増すことから推進して行きたい。



佐藤栄三議員

新規就農者、協力隊との交流は 情報交換の場としても重要だ

問 新規就農者、地域おこし協力隊との意見交換会の中で桑折町の魅力や自然の中で自由にできる農業の魅力、桃栽培に対する情熱など若者の話を聞くことができた。予定時間となり後の課題にまで進めずに次の機会としたが、町としてこの様な話し合いの場を持たれたものか、今後の移住定住を進めるためにも仲間づく

りのためにも、新規就農者、地域おこし協力隊員同士の懇談の場は必要と思われるが伺う。

答 町長 懇談会は農業者同士の親睦を図ることはもとより情報交換の場として重要であると捉えていることから、町が積極的に主催するほか機会をとらえて関係団体や異業種交流の場も設けていく。



ー初めての桃収穫ー

これも質問

問 自然災害から町民を守る施策について

答 伝達方法の多重化を図り環境整備て行く



佐藤 武朗 議員

本町の「魅力情報発信基地」は 旧伊達郡役所を中心に考えたい



一周遊を図るため、本町の起点にー

問 「イオンモール北福島（仮称）」は2024年（令和6年）12月の開業を予定、年間1,500万人の利用者を見込むと新聞報道された。伊達市は当施設を核とした周遊促進策の検討を本格化、観光や物産振興の仕組みづくりを担う民間経験者を「市商工観光課」に配置する。本町は伊達市との連携をどう図るか。また、民間活力を最大限に活かした

町独自の展開は。
答 町長 「伊達市堂ノ内地区広域貢献策検討会議」で周遊促進を図る。当施設の進出は本町にとってビッグチャンスと捉え、旧伊達郡役所を中心に賑わいと経済効果を町内にもたらすべく地域資源を活かした誘導策を検討している。また、IC周辺への企業誘致は全力で取り組んでいく。

**後継者の良きパートナー探しを
現事業に参加いただける情報を**
担い手不足は、本町に限らず全国的な課題。桃の生産は、県北エリアが中心で、言うまでもなく本町の「献上桃」のブランドは定着している。このブランドを次の世代まで維持するには多くの課題が見受けられるが対策は。
問 2020農林業センサスから、離農、高齢化、後継者不足、また耕作放棄地及び予備軍も多くみられる。今後の対応は。
答 町長 地域の話し合いに基づき「人・農地プラン」の実質化と、農地の集約と担い手のマッチングを図る。
問 農家の後継者の声として「献上桃の郷」を守るためのひとつの課題として、多くの後継者が未婚者であること。後継者が希望を持つて取り組める家庭環境を作るためにも良きパートナーに巡り合える婚活等の施策が必要では。
答 町長 現事業に積極的に参加できる情報提供に努める。

これも 質問

問 時間が掛かりすぎる声、許認可申請取り扱いは
答 今後とも寄り添った対応に心がけていく
問 DXの推進をどのように図っていくか
答 「桑折町DX推進計画」に基づき進めていく

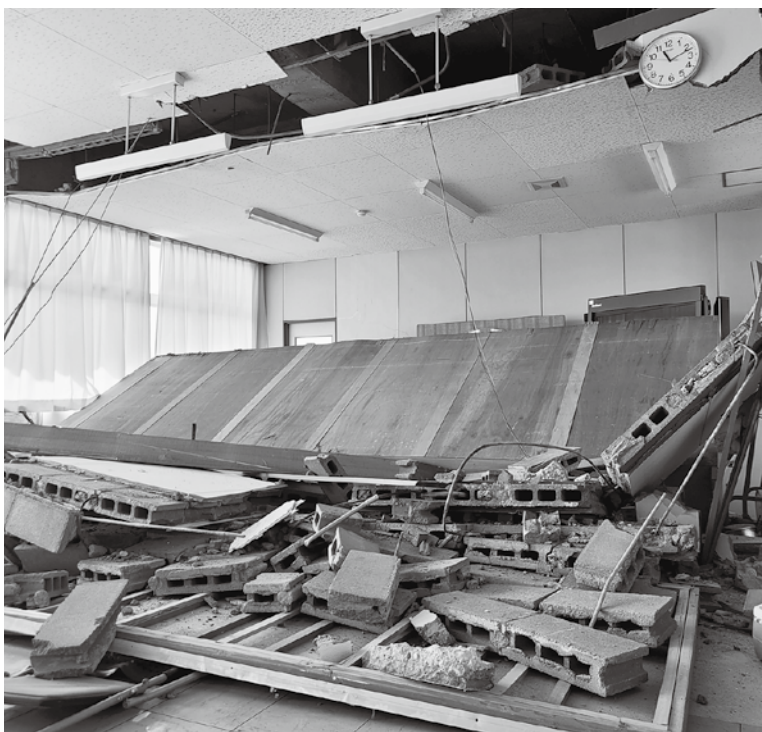
全町民が誇らしく思う町長に 初心にかえってがんばっていく

問 『私は、桑折町の町長は伊達郡、県北のリーダーであるべきだと思う。片平秀雄議長は福島県町村議会議長会の副会長として職責を果たされている。桑折町議会は福島県内2位の評価をいただいた（議会改革度調査2021結果 早稲田大学マニフェスト研究所2022年6月1日発表）。ありがたいことに、私に秋の町長選挙へ出馬を勧める町民も少なくない。その中には高橋町政への不満を
口にする方もいる。日頃、私は高橋町長の尽力される姿を拝見し、お人柄も大好きです。しかし、町民の高橋町政への不満が大きくなれば、私は町長としての高橋宣博さんを信頼できなくなってしまう。高橋町政に批判的な町民の信頼を得てほしい。すべての町民が誇らしく思う町長になってほしい。』
答 町長 精一杯、初心にかえってがんばっていきたい。



岡本 貴士 議員

町施設にブロック壁はないのか 使用は認められません



ー倒壊した伊達崎小学校の壁（鉄筋なし）ー

問 町民の声「伊達崎小学校の間仕切り壁にコンクリートブロックが使われていた。危険では」をお預かりした。町施設に同様の間仕切り壁があるものか伺う。
答 町長 間仕切り壁については、各部署で所管している公共施設を確認した結果、町民利用の施設においてコンクリートブロックの使用は認められませんでした。

これも 質問

問 感染情報の非公開に不安を抱く町民もいるが
答 丁寧な相談対策に努めてまいります



半澤 高議員

事務チェック体制は 適正な執行を指示している



—町役場の入出金の要です—

山口県阿武町で発生したコロナ関連給付金4,630万円を一人の町民に誤送金した事案は、チェック体制が不十分であった事がその一因であると考えられる。そこで次の点を伺う。

問 桑折町の事務チェック体制はどうか。

答 町長 事務については、職員一人ひとりが業務内容を理解し、正確な作業に徹することはもとより、上司

が決済時における重要性を深く認識し、責任をもって確認・指導を行い、組織全体で適正な執行にあたるよう、日頃より指示し、徹底を促している。

問 指定金融機関との連絡体制は。

答 町長 振込事務については、常に支出調書の金額及び件数振込先を振込日の前日までに指定金融機関と確認し、執行している。

鼓笛隊パレードの復活を 運動会のみにとどめたい

商店街の賑わい創出のため、次に次の点を伺う。

問 以前に実施していた街なかでの鼓笛隊のパレード復活を。

答 教育長 鼓笛隊については、児童・教職員の多忙化解消及び教育活動の質的向上を目指して行事等の精選を進めていることから、各小学校運動会での実施にとどめている。

問 旧伊達郡役所等でのイベント開催を。

答 町長 旧伊達郡役所は、復旧・保存修理工事完了後に、重要文化財指定45周年記念事業もあわせ、リニューアルイベントを開催予定。今後は、街なかや周辺の賑わい創出の核として、歴史的な趣を最大限に活かした文化的催しの開催や民間への貸出等を積極的に進める。

これも質問

- 問** 歴史文化エリアあり方検討委員会の結論は
- 答** 充分な議論を重ね年内に結論を出したい
- 問** 中学校部活動の地域移行の取り組みは
- 答** 今後、実現可能な方策を探っていききたい

町独自の支援策は 生活再建支援法を適用

問 去る3月16日深夜本県沖を震源とする震度6強の地震が発生した。国見町、桑折町は甚大な被害だ。県は4月14日被災者生活再建支援法適用を発表した。本町の被害状況は、全壊、半

壊、一部損壊の世帯数の最終報告を伺う。

答 町長 住宅被害については、6月10日現在、全壊6棟、半壊85棟、一部損壊1,028棟である。

東電(株)に対する損害賠償請求は 国に対する緊急要望を行っている



岩崎 久男議員



—中間指針の見直しを—

問 東京電力(株)に対する損害賠償請求は、令和2年度分職員人件費や健康管理費用3,531万円を請求は済んだと思います。いつ請求されたか、伺う。

答 町長 損害賠償請求については、令和4年3月28日に請求書手交を行った。

問 原発事故被害者の損害賠償を求めた6件の集団訴訟に関し、東京電力への最高裁判決が確定したが、全体として、国の中間指針の

水準を上回る判決だ。中間指針の見直しを行うべきと強く求めるべきでないか。

答 町長 中間指針の見直しについては、最高裁の判決を受け、4月19日に本町も加盟している「福島県原子力損害対策協議会」において、国に対する緊急要望を行った。今後の「原子力損害賠償紛争審査会」における議論及び対応を注視していく考えである。

これも質問

- 問** 第2期子ども子育て支援事業計画との関連について
- 答** 具現化していく
- 問** 子育て世代の支援策について
- 答** 15歳の目指す姿を目標に
- 問** 非核平和の町宣言について
- 答** 広島平和記念式典に児童4名を派遣



齋藤 松夫 議員

民営化否定の町文書説明できるか 令和3年度については矛盾しない

問 「桑折町第2期子ども子育て支援事業計画」の序文で、町長は「これからこの方針で進めていく」と述べながら、突然、保育所等民営化方針を打ち出した。あまりにも不自然で内閣府指針とも合致しない。そのうえ説明責任が、いまだ果たされていない。これまで「桑折町第二期子ども子育て支援事業計画の多様な主体の導入についての調査研究が民営化を進める根拠だ」と答弁してきたが、健康福祉課配付資料（昨年7月29日子ども子育て会議）には、「待機児童がいないので必要がなかった」と書かれている。根拠なき突然の民営化の理由を問う。

答 町長 令和2年の段階ではそうかもしれないが、令和3年度については、引き続き検討すると書いているので、別に矛盾するとは考えていない。

事業主体	令和2年度実施状況	令和3年度の取り組み				
		方向性				取り組み内容
		検討	新規	継続	充実	
こども教育課	公設公営で保育所・幼稚園・預かり保育・放課後児童保育を実施している中でも、待機児が発生していない状況だったため、民間事業者の参入促進のための体制整備を検討する必要がなかった。	○				今後、未就学児や児童の利用者数などの推移を見ながら、体制整備について検討する。

ー保育所等民営化の根拠とされている「多様な主体導入」にー

スーパー誘致を行って心痛まぬか 条例制定は商工会とともに検討

問 蚕糸跡地へのスーパー誘致による地元事業者への影響は大きい。町長として心が痛むことはないのか。話し合いは行ってきたのか。町商工会ホームページにある「経済動向調査報告書」等に基づく分析検討は行ったうえで政策判断なのか。同商工会の「小規模企業振興条例制定要望」に対し、どのような検討を進めているのか。

答 町長 町長就任時より、の社会情勢の変化等を踏まえ、商業施設を中心としたここにしかない複合施設の整備をプロポーザル方式により誘致したものだ。町商工会長も参画した有識者会議で、妥当との意見を頂いている。条例制定は商工会とともに検討していく。

これも質問

問 歴史観光構想を再検討するのはなぜ

答 町民意見を踏まえるため

問 公営住宅への一時入居される方への支援は

答 緊急での提供は期間3ヶ月まで、

県の制度を案内

て頂ければと思います。

紹介はP.26に載ってます。

委員会活動報告

総務文教常任委員会 委員長 斉藤 謙

調査報告

- 1 調査事件
コロナ禍における教育行政・学校教育・社会教育について
- 2 調査目的
コロナ禍における教育行政のあり方検討のため
- 3 調査経過
省略
- 4 調査結果
学校教育に関しては、タブレット端末を使用した授業を視察、オンライン授業

の環境は整いつつある。今後、自宅での活用方法等の充実強化及び校内システムの合わせた取組が望まれる。社会教育に関しては、町民が望む公民館事業を公民館運営審議会を設置することで、不特定多数の町民の声を反映させた事業開催の実施で参加者増も期待される。公民館役割を活かし町民ニーズに沿う進め方が望まれる。

広報広聴常任委員会 委員長 川名 静子

当委員会の年間目標は、常に議会の情報を平等に早く町民の皆様へお届けすること、町民の皆様の意見や声を聴取し議会活動に反映させることを目指しています。

コロナ禍での会議の開催方法も、若干緩和され始めました。暫く議会報告・意見

見交換会を控えておりまして、状況を見極めて行いたいと思います。

皆さんと情報を共有するためにどのような方法があるのか、模索してみます。議会モニター皆さまの活動に期待しております。
令和4年度新メンバーの新たな目線で議会の中を見

産業厚生常任委員会 委員長 佐藤 榮三

当委員会では、5月31日、新規就農者、地域おこし協力隊の隊員の皆様との意見交換会を開催した。

当日はそれぞれ、五名と四名の全員の方に出席いただき、どうして桑折町に移住し就農しようと思ったのか、就農に際して困ったことはなかったか、農業の魅力はどう思ったか、など若者の目線での意見を頂いた。意見をいただいた中で、桑折町の良さや自然の中の農業の面白さや、桃作りへの情熱が強く伝わってきた。



議論が続いた意見交換会

次回の予定としては、新規就農就農への課題等についての考え方をお聞きして、委員会としてどのような支援策が必要なのか等を協議検討して今後の活動に生かして行く。



収穫の多かった視察

議会運営委員会

委員長 半澤 高

これまで調査してきた「欠席に関するルール」に関して集大成として『90日以上欠席の場合、報酬を0とする』（公務災害等は除く）旨を盛り込んだ「議員報酬等の特例に関する条例」（案）を作成し、全員協議会

にて協議の俎上に載せたところ「長期欠席しても議員の身分を保障するものになる」等の意見が出され、再度委員会で協議することになった。「予算決算の審議のあり方」に関しては、7月12日予算決算常任委員会

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策調査特別委員会 委員長 斉藤 謙

令和2年6月22日設置以来、新型コロナウイルス感染症対策等に関して、5項目（医療体制、教育環境、防災（避難所）、福祉政策、産業）について調査・検討してきたが、最近中学校の修学旅行実施後、クラスター等により当町の感染者が増加傾向にある。教育委員会中心に保護者等への注意喚起を強化している。

臨時会

第4回 5/19

災害等廃棄物処理に5億以上

補正予算

一般会計(第3号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ5億7,496万5千円を追加し、予算総額を63億7,748万3千円とするもの

《主な歳入》

- ・特別交付税 2億1,760万2千円
- ・災害等廃棄物処理事業補助金 2億7,200万2千円
- ・地方創生臨時交付金 1,187万円
- ・財政調整基金繰入金 5,784万4千円
- ・防災・減災対策拠点整備事業債 880万円

《主な歳出》

- 3月本県沖地震対応 175万3千円
- ・災害救助費

- (災害見舞金追加、全壊1世帯半壊以上24世帯 他2件)
- ・災害等廃棄物処理事業費 5億4,400万5千円
- (被災家屋の解体撤去 公費解体107棟、自費解体23棟)
- ・小・中学校管理総務費 930万円
- (醸芳小・醸芳中共 蓄電池改修)

臨時交付金対象

・商工振興対策費

1,154万円

(Go To Eatこおり食事券発行) 質疑 商品券の購入方法、販売店を増、学校に設置の蓄電池等への質疑がでた。

第6回 7/11

伊達崎小の災害復旧へ向け

工事請負契約の締結

1 契約の目的
令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により施設が損壊した桑折町立伊達崎小学校の災害復旧工事(第2期)を行うため

2 契約金額 6,919万円
(うち消費税及び地方消費税額629万円)

3 契約の方法 条件付一般競争入札

4 契約の相手方 住所 伊達市保原町字東野崎106番地5 氏名 株式会社 山崎組 代表取締役 山崎 操

質疑 安全性から工事内容が強化されるのか、一社の応札で競争の原理等へ質疑が出た。

補正予算

一般会計(第5号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ431万円を追加し、予算総額を68億3,688万2千円とするもの

《歳入》

- ・住宅・建築物耐震改修補助金 151万8千円
- ・繰越金 279万2千円
- 《おもな歳出》
- ・住宅計画費 276万円 (屋根耐風改修 5件分)
- ・小学校管理総務費 140万円 (火災報知設備修繕)

政務活動費報告(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

No.	議員氏名	交付額	支出内容	備考
1	岡 本 貴 士	60,000	広報費	○調査研究費 議員が行う町の事務及び地方行財政に関する調査研究に要する交通費、宿泊費等 ○研修費 団体等が開催する研修会、講演会等への議員の参加に要する会費、交通費、宿泊費等 ○資料購入費 議員が行う調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する書籍購入代、新聞雑誌購読料等 ○広報費 議員が行う議会活動及び町政に関する政策等の広報活動に要する広報誌・報告書等印刷費、送料、交通費等 ○事務費 議員が行う調査研究に係る事務遂行に必要な事務用品費、通信費、使用料、賃借料等
2	鈴 木 隆 志	12,000	資料購入費、広報費、事務費	
3	岩 崎 久 男	1,643	広報費	
4	齋 藤 松 夫	60,000	資料購入費、事務費	
5	佐 藤 武 朗	3,860	広報費	
6	斉 藤 謙	60,000	広報費	
7	羽根田 八千代	0		
8	佐 藤 榮 三	0		
9	川 名 静 子	49,515	研修費、資料購入費、広報費、事務費	
10	半 澤 高	0		
11	原 賢 志	40,871	資料購入費、広報費、事務費	
12	片 平 秀 雄	57,311	調査研究費、資料購入費、広報費、事務費	
合 計		345,200		

(1議員の政務活動費 年60,000円)

一部事務組合議会報告

一部事務組合への令和4年度負担金予算額と前年度対比表

単位：千円
小数第2位
四捨五入

区 分	内 訳	R4年度予算額	R3年度予算額	増減額	増減率
伊 達 地 方 衛 生 処 理 組 合	一般会計	7,014	6,132	882	14.4%
	し尿処理	29,403	28,440	963	3.4%
	ごみ処理	45,004	37,541	7,463	19.9%
	計	81,421	72,113	9,308	0.4%
公立 藤田病院組合	特別交付税	28,485	29,743	▲1,258	▲4.2%
	一般会計	30,000	30,000	0	-
	計	58,485	59,743	▲1,258	▲2.1%
伊達地方消防組合	一般会計	222,270	208,482	13,788	6.6%
合 計		362,176	340,338	21,838	6.4%

行政の能率化、効率化を図るため、特典の事務を関係市町村で共同処理する方式です。

◆一部事務組合とは

伊達地方衛生処理組合

選出議員

半 澤 高
岩 崎 久 男

災害廃棄物処理への補正予算

- 1 伊達地方衛生処理組合議会議長 副議長 監査委員の選出について
- 2 災害廃棄物の搬入状況と施設災害復旧事業について
3月16日に発生した福島県沖地震により被害が生じたごみ焼却施設の速やかな本復旧工事 災害廃棄物を迅速に処理するため補正予算の必要が生じたことから専決処分した。

公立藤田病院組合

選出議員

齋 藤 松 夫
斉 藤 謙
佐 藤 榮 三

議会提案 職員へ慰労金が

- ① 藤田病院議会からの嬉しいお知らせです。新年度より医師8名、研修医9名的大幅増員です。
- ② コロナ禍で赤字見込みであった令和3年度ですが、コロナ関連補助金などにより、黒字見込みに転換です。
- ③ 議会提案のコロナ対応で頑張られた職員のみなさんへの、慰労金の実現しました。

伊達地方消防組合

選出議員

川 名 静 子
佐 藤 武 朗

西分署庁舎改築予算計上

3月定例会で専決処分、条例改正3件、令和3年度一般会計補正予算、令和4年度一般会計は全て可決され、4年度の総予算は20億5,270万円。予算の主なものとして、西分署庁舎改築工事の4億8,027万4千円が計上。年々加速する少子高齢化に伴い救急需要が増大、警防、予防、救急、救助の各分野に的確な対応を消防組合には期待されている。

福島地方水道用水供給企業団

選出議員

片 平 秀 雄

今年度当初予算及び業務予定量承認

2月22日令和4年2月定例会が開催され、補正予算及び当初予算が提出され、原案のとおり可決された。

業務予定量

令和4年度は、年間総給水量を3,845万7,550立方メートル(同69万5,841立方メートル減)、1日平均給水量10万5,363立方メートル(同1,907立方メートル減)と見込んでいます。

令和 4 年度桑折町国民健康保険税あん分率

			医療給付費分		後期高齢者医療支援金分		介護納付金分		
			令和4年度	3年度	令和4年度	3年度	令和4年度	3年度	
あん分率	所得割		100分の 6.77	6.77	100分の 2.96	2.92	100分の 2.90	2.86	
	均等割	(被保険者1人あたり)	22,300円	22,300円	9,400円	9,400円	10,300円	10,300円	
	平等割	(1世帯あたり)	17,200円	17,200円	7,300円	7,300円	5,300円	5,300円	
		(特定世帯)	8,600円	8,600円	3,650円	3,650円			
		(特定継続世帯)	12,900円	12,900円	5,475円	5,475円			
軽減額(地方税法第七百三三條の五)	7割軽減額	均等割	(被保険者1人あたり)	15,610円	15,610円	6,580円	6,580円	7,210円	7,210円
		平等割	(1世帯あたり)	12,040円	12,040円	5,110円	5,110円	3,710円	3,710円
			(特定世帯)	6,020円	6,020円	2,555円	2,555円		
			(特定継続世帯)	9,030円	9,030円	3,833円	3,833円		
	5割軽減額	均等割	(被保険者1人あたり)	11,150円	11,150円	4,700円	4,700円	5,150円	5,150円
		平等割	(1世帯あたり)	8,600円	8,600円	3,650円	3,650円	2,650円	2,650円
			(特定世帯)	4,300円	4,300円	1,825円	1,825円		
			(特定継続世帯)	6,450円	6,450円	2,738円	2,738円		
	2割軽減額	均等割	(被保険者1人あたり)	4,460円	4,460円	1,880円	1,880円	2,060円	2,060円
		平等割	(1世帯あたり)	3,440円	3,440円	1,460円	1,460円	1,060円	1,060円
			(特定世帯)	1,720円	1,720円	730円	730円		
(特定継続世帯)			2,580円	2,580円	1,095円	1,095円			

令和 3 年度 桑折町一般会計事故繰越し繰越計算書 (R4.5.31現在)

款	事業名	支出負担行為額	翌年度繰越額	一般財源	説 明	完成予定期日
02 総務費	旧庁舎「桑折町役場」プレート設置事業	493,900円	494,000円	494,000円	石材輸入元である中国福建省において、採石場と港の間に新型コロナウイルス感染症が拡大し、運搬困難となったため。また、国内の石材は高価で時間がかかるため、工事金額内では代替できないため。	令和 4 年 6 月 20 日
合 計		493,900円	494,000円	494,000円		

令和 3 年度 桑折町一般会計繰越明許費繰越計算書 (R4.5.31現在)

款	事業名	金 額	翌年度繰越額	一般財源	完成予定期日
02 総務費	軽自動車税システム制度改正に伴う改修業務	2,860,000円	2,860,000円	2,860,000円	令和 4 年 12 月 28 日
	住民記録システム改修業務	2,310,000円	2,310,000円	0円	令和 5 年 2 月 20 日
03 民生費	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業	115,867,000円	10,019,000円	0円	令和 5 年 1 月 31 日
	子育て世帯に対する臨時特別給付金支給事業	160,269,000円	2,705,000円	0円	令和 4 年 5 月 31 日
	住宅応急修理事業	63,298,000円	2,985,000円	0円	令和 4 年 7 月 31 日
05 農林水産業費	農村地域防災減災事業(成田ため池基本設計業務)	17,000,000円	17,000,000円	0円	令和 4 年 11 月 30 日
	ふくしま森林再生事業	23,630,000円	9,671,000円	415,000円	令和 4 年 6 月 30 日
07 土木費	町道 3100 号(下郡上代)線道路改良事業	23,000,000円	12,770,000円	12,770,000円	令和 4 年 6 月 30 日
	橋梁点検事業	30,500,000円	11,892,000円	7,226,000円	令和 4 年 9 月 30 日
09 教育費	学校保健特別対策事業「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	3,600,000円	0円	0円	令和 4 年 3 月 31 日
	学校保健特別対策事業「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業	900,000円	0円	0円	令和 4 年 3 月 31 日
	旧伊達郡役所保存修理事業	52,191,000円	52,191,000円	2,696,000円	令和 4 年 11 月 30 日
10 災害復旧費	旧伊達郡役所災害復旧事業	75,591,000円	75,591,000円	78,000円	令和 4 年 11 月 30 日
合 計		571,016,000円	199,994,000円	26,045,000円	

議会モニターからの質問にお答えします。

議会だより令和 4 年度春号について、ご質問をいただいたことに、お答えします。

消防団設置等に関する条例改正

問 町消防団設置等に関する条例改正で、定額増とした根拠は

答 消防庁は団員数の減少に講ずべき対策を検討、処遇改善策として報酬を基準に合わせた取組を行うよう通知があり、改正となった。

議員活動状況報告書

問 今回、議員活動状況報告書を議会だよりに掲載しなかったのは、何故か。

答 議員の活動状況は、字が小さく工夫が必要なページでした。春号では、内容が多く省きましたが、分かり易く載せていきます。

議会報告会及び意見交換会の事前質問にお答えします。

コロナ禍の影響で開催中止となりました「議会報告・意見交換会」で事前質問通告として、さまざまな観点からご質問をいただいたことに、お答えします。

民営こども園について

問 伊達市の民設民営こども園が資材等値上がりで 2 件の事業者が撤退した。同様なことが桑折町でも起こり得ると思う。こども園は町設町営が安心である。なぜ、急に民営化の話が出たのか。

答 後日、調査特別委員会で調査した内容をお知らせします。

伊達郡の発熱外来について

問 先日広報として配られた発熱外来の利用が週 3 回平日のみだった。子どもは週末体調を崩しやすい。予算を出しても対応してほしい。

答 町に確認したところ、土・日の対応に関しては、かかりつけ医に相談し、かかりつけ医がいない方は、受診センターへ連絡し、土・日でも受診できる医療機関を紹介してもらってください。

保育所の廃止・民営化について

問 陳情書に対する今後の対応。

答 調査特別委員会で調査し対応する。

桑折町の将来像について

問 新総合計画で、これからのまちづくりに「観光立町」の考えはあるか。

答 移住定住の一環事業として、各種イベントを開催実施しているが、特に「観光立町」を明確化したものではない。

議会報告会

問 事前質問通告書の意味は。

答 報告会場では質問できない方もおられると聞いています。可能な限り多くの質問に答えるためこの様な手法をとっています。

昭和大橋橋梁災害復旧費について

問 6 月定例会で、昭和大橋の橋梁災害復旧費 1 億 360 万円を計上していたが、原状復帰もできない。今回も 2,700 万円を橋梁災害復旧費として専決承認している。何故か。

答 昭和大橋については、令和 3 年度災害復旧事業による復旧工事を令和 4 年 3 月 15 日に完了し、3 月 19 日に交通開放を予定していました。しかし、3 月 16 日に発生した震度 6 弱の地震により、再度橋梁が被災したことから、復旧に必要な設計業務が発生するため、4 月 1 日に専決処分を行いました。

活 動 状 況		対象者
議会定例会・臨時会		
3月1日～3月17日	令和4年第2回議会定例会(休会日 3月4日、5日、6日、9日、11日、12日、13日、15日)	全 議 員
4月7日	令和4年第3回議会臨時会	//
5月19日	令和4年第4回議会臨時会	//
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会		
4月20日	第23回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会	選 出 委 員
5月24日	第24回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会	//
議会運営委員会		
3月3日、17日、29日	4月7日、14日、26日 5月19日、26日 6月6日	選 出 委 員
総務文教常任委員会		
3月1日	4月5日、15日、28日 5月12日、26日	選 出 委 員
産業厚生常任委員会		
3月1日、14日	5月10日、31日 6月3日	選 出 委 員
広報広聴常任委員会		
3月3日、17日、22日、25日	4月4日、8日、12日、22日	選 出 委 員
議会全員協議会		
3月1日、2日、3日、7日、8日、10日、14日、16日、17日	4月7日、12日、26日 5月10日、19日 6月7日	全 議 員
例月出納検査		
3月25日	4月25日 5月25日	監 査 委 員
政務調査会		
5月19日	政務調査会役員会	選 出 役 員
24日	政務調査会総会	全 議 員
公立藤田病院組合議会		
3月30日	公立藤田病院組合議会全員協議会	選 出 議 員
//	令和4年第1回公立藤田病院組合議会定例会	//
伊達地方衛生処理組合議会		
3月28日	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	選 出 議 員
//	令和4年第1回伊達地方衛生処理組合議会定例会	//
5月27日	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	//
//	令和4年第2回伊達地方衛生処理組合議会臨時会	//
伊達地方消防組合議会		
5月27日	伊達地方消防組合議会全員協議会	選 出 議 員
//	令和4年第2回伊達地方消防組合議会臨時会	//
福島地方水道用水供給企業団組合議会		
5月16日	福島地方水道用水供給企業団組合議会打合せ	議 長
23日	令和4年5月福島地方水道用水供給企業団組合議会臨時会	//
福島県市町村総組合議会		
5月23日	令和4年5月福島県市町村総組合議会臨時会	議 長
福島県町村議会議長会		
5月9日	福島県町村議会議長会正副議長会議	議 長
//	福島県町村議会議長会理事・監査合同会議	//
6月3日	福島県町村議会議長会正副議長会議	//
//	福島県町村議会議長会理事・監査合同会議	//
//	令和4年度福島県町村議会議長会定期総会	//
伊達郡町村議会議長会		
3月22日	伊達郡町村議会議長会正副議長及び事務局長合同会議	正 副 議 長
4月18日	伊達郡町村議会議長会正副議長及び事務局長合同会議	//
5月20日	伊達郡町村議会議長会議	//
その他行事		
3月22日	高齢者作品審査会	議 長
4月21日	福島蚕糸跡地造成工事起工式	正 副 議 長
5月11日	第6回全国山城サミット桑折大会実行委員会	正 副 議 長
20日	伊達市議会正副議長来庁	議 長
21日	桑折町SDGs推進町民会議設立総会	正 副 議 長
22日	半田山山開き	副 議 長
25日	自治体DX推進トップマネジメントセミナー	正 副 議 長
30日	令和4年度町村議会議長・副議長研修会	正 副 議 長
31日	伊達地方消防組合議会正副議長来庁	議 長
6月1日	まちづくりネット役員来庁	議 長

- 議会議員の派遣
- 1 第17回伊達郡町議会議員大会
- (1) 目的 郡内町議会の議員が一堂に会し、議員大会を通して町村自治の確立と議会機能の高揚を図り、活発な議会活動の推進に資する。
- (2) 派遣場所 川俣町中央公民館
- (3) 期間 令和4年7月20日
- (4) 派遣議員 議会議員全員
- 2 議会運営委員会視察調査
- (1) 目的 予算・決算審議のあり方を検討している当委員会では、先進地である川俣町議会を視察。委員会方式でのメリット・デメリットを調査し、当議会における協議・検討の参考に資する。
- (2) 派遣場所 川俣町役場
- (3) 期間 令和4年7月12日
- (4) 派遣議員 議会運営委員及び参与

町村議会広報研修会

文化センター 6/30

県町村議会 議長会主催の 広報研修会が 2年ぶりに開催された。

講師のグラフィックデザイナー・長岡光弘氏より「広報紙の広報力を高めるために」と題して、講義があった。

議会だよりは、公費で出版され住民が購読料を払っている機関紙である。議員目線で町民に何を伝えるか。住民目線で、住民に情報が

お知らせ

9月定例会は、8月下旬から9月上旬に開催予定です。(町長選挙のため早くなります)

議会報告・意見交換会はコロナの状況を注視して、行う予定です。詳しくは後日

町村議会広報研修会

研修を生かした編集に

- 町民の声
- 議会広報委員会では発行後、各地区数名の方々にアンケート調査にご協力を頂いております。
- 皆様からの率直な生の声として、「町民の声」のページに掲載しております。わかりやすい、伝わる紙面づくり、編集に生かさせて頂きます。
- 「議会傍聴」から
- ・初めて 4名
- ・1、2回傍聴した 1名
- ・同じ内容の質問が多い。
- ・質問者・答弁者も聞き取れない所がある。また、傍聴席にも机がほしい。
- (60代男性)
- ・地域協力隊員の地域農家との交流が大事という質問に対し、先日の認定農家会での研修事業への協力隊員の参加も進めるべきとの意見が反映されたとの思いを持った。
- (60代)
- ・町の行政が良くわかり参考になる。
- ・重点になるところを、ゴシックや大文字等読みやすくしてほしい。
- ・専門的に書かないと意味がないと思うが、一般人が理解できる構成にしてほしい。
- ・旧役場、幼稚園、コロナ等、町長だけでなく議会でもよく検討してほしい。
- (80代男性)
- ・内容が盛りだくさんで長い。
- ・荒れた田畑やけもの被害に興味があります。
- (60代女性)
- 「議会だより」アンケートから
- ・毎回読む 8名
- ・目にした時に読む 3名
- 気づいた点・要望など
- ・醸芳保育所等をなくさないでほしい。(60代女性)
- 編集委員から
- ・ご意見を寄せていただきありがとうございます。できる限り答えていきます。



川村 慈道

議会モニター2期目に応募し依頼されました。1期目に生の議会を傍聴し大変刺激を受けました。今後は議会における議案の賛否に関し議員諸氏の論戦力と行政の政策立案手続きにも興味を持ってモニターしたいと思います。



酒井真理子

今まで、一度も議会の中身を知ろうとしませんでした。何もわかりませんが、いい機会だと思いモニターとなりました。わからないなりにやらせて頂きます。わからないからこそ見えるものがあるかも、?!



佐々木 明

桑折町の事をもっと知りたく、モニターに応募しました。生活課題をめぐって町民と議員が当事者になって考える事が出来る町は、住んで良かった町になると思います。町議会が民主的な運営を推進できるように、応援団として関わりたいと思います。



穴戸 守

議会モニターは、2年目になります。議会を傍聴してきて、議会が町政に町民の意見を反映させる役割を担っていることがよく分かりました。これからも議会に関心を持ち続けたいと思い、議会モニターに応募しました。



津田 健一

コロナ禍で地域活動やコミュニティが制限されました。今後、ウィズコロナ社会での議会の役割も大きいことから、議会運営の一助になればと思い応募しました。一年間宜しくお願い致します。



二階堂洋子

今迄忙しいのを言い訳にして来ましたが、今回“モニターにどう”と声を掛けてもらい、時間に余裕が有る内と思い、応募しました。発言は苦手ですが、見る、聞くことは大丈夫なのでこの機会に少しでも町政に関われたらと思っています。一年間宜しくお願いします。



山川多美子

私は、全世界の女性の地位向上のために活動する世界的な奉仕団体で10年以上活動してきました。数年前からのコロナ禍において活動の自粛を余儀なくされました。この少し立ち止まった時に今まで知らなかった我が町を知る機会を得ました。これからもっと我が町を見てみようと思い応募しました。



吉田 良崇

まだまだ町政や議会運営に対して関心が薄いのと、議員と町民間で距離があるのも現状です。なかなか難しい問題かと思いますが、少しでも興味をもってもらえるよう、モニター2年目として協力させていただきます。

(50音順・敬称略)

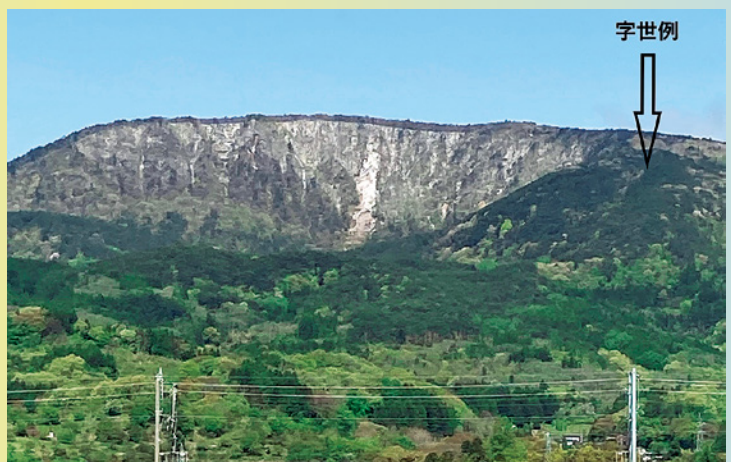
編集後記

「遊盤陀山記(はんだやまにあそぶき)」明和7年(1770)現在の4月26日に保原町高子の漢学者、熊阪台州とその弟子で桑折町西町の開業医、小野隆庵、息子の泰庵、隆庵の門人佐藤子古と佐藤元素の5人が西町から半田山頂上まで薬草を採取しながら登ったことを、高子の明月楼で台州により約250年前に書かれた登山記で、文中「ト年峠の雪、四月八日を経れば、其の歳、必ず熟す。」と現在の半田山(字世例)に5月3日まで残雪があれば日照りにならず豊作とある。今年は、例年になく、田起こしが始まった4月30日に半田山に雪が降った年で、豊作が望まれる年になればと思います。 鈴木隆志

■広報広聴委員会 編集委員

委員長 川 名 静 子 委員 齊 藤 謙
副委員長 鈴 木 隆 志 委員 佐 藤 榮 三

まちな歳時記 ~4月30日の半田山雪景色~



議会だより

令和4年7月13日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片 平 秀 雄
編集 議会広報広聴常任委員会
電話 (024)582-2113
印刷 株式会社日進堂印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>